

LINE を使おう！スマホ教室

2025.1.20—21

ラインアプリのスマホ教室を開催しました。グループラインの作り方、ミュートの仕方、友だち追加の仕方等々…いざやろうとするとわからなくなる操作を実践形式で行いました。当センターではスマホお悩み相談も受けておりますので、お気軽にお越しください。



令和7年度

わくわくアカデミー 年間スケジュール

予定は変更になる可能性があります

最新情報は **公式ライン** で GET /



QRコードを読み込み後、登録できます。分からない方は支援センターへお越しください。

第1回

あがらない話し方について学ぼう！ ～「伝える」から「伝わる」話し方とは～

羽咋市
介護予防
ポイント
対象事業

日時 **令和7年6月6日 金**
14:00～15:30

講師 **蔵都氏**
(一社)石川県キャリア教育支援センター代表理事

場所 **羽咋すこやかセンター2階 研修室1・2**

対象 **羽咋市民30人 (無料)**

詳細や申込方法は後日
HP・公式ライン
にてお知らせします!



月	内容	月	内容
7	健康講座「フレイル予防」	11	ボランティア交流会・発表会
8	ボランティア交流会	12	健康講座「口腔ケア」
9	クラウドファンディング講座	1	スマホ講座「LINE」
10	PC講座「Canvaでチラシ作り」	2	市民提案型まちづくり事業 報告会・講演会

その他 **花** いっぱい運動・防災講座

等々計画中です



<お問い合わせ先>

羽咋市市民活動支援センター ※管理・運営 (社福) 羽咋市社会福祉協議会

〒925-0027 石川県羽咋市鶴多町亀田17番地 羽咋すこやかセンター3階
TEL:0767-22-9979 FAX:0767-22-7525 メール:office@hakuishien.com

羽咋市市民活動支援センターだより

元気発信はくい

2025
4
No.47

— 2025.2.8 新・わくわくアカデミー第8回 —

まちづくり×防災×市民活動

令和6年度、新たな試みとして「新・わくわくアカデミー」と銘打って一人でも多くの市民の方に参加いただけるよう年間8回の研修・講座を開催しました。

第1部 羽咋市市民提案型まちづくり支援事業報告会

羽咋市市民提案型まちづくり支援事業とは、市民が提案し自分たちで実施するまちづくり事業に支援する助成金事業です。今回は、3年間活動された**3団体**に活動報告いただきました。

01 千里浜ローズサポーターズ 『みんなで作るローズガーデン』

そこに訪れた誰もがみなバラを眺めて、香りを嗅いで楽しむことができる「魅力的で癒しの空間」となるようなローズガーデンを千里浜公民館の庭に仲間と共に楽しく作業しながら整備しています。作業は大変だったけど、童心に戻ったつもりで楽しく作業ができた事、今ではどれもが愛おしくたまらないそうです。ぜひ、バラの見ごろに足を運んでみてはいかがでしょうか。



02 柴垣オリーブの里 『オリーブ栽培で環境保全と名産づくり』



オリーブ栽培を通して市民同士のつながりを強化し、もっと元気な羽咋市にしたい！と砂地を利用して始めました。草刈りや水やりなどの重労働と風の被害もありながら現在88本までになりました。オリーブ栽培に取り組む福井市三里浜を視察し、収穫から販売までを計画中です。羽咋市の新たな名産「柴垣産オリーブオイル」の完成が楽しみです。

03 サンセットビーチ千里浜サポートクラブ 『地域の事業者とライダーの交流促進事業』

夕陽を通じて千里浜なぎさドライブウェイの魅力を広く発信し、全国からバイクや車で羽咋市を訪れ楽しめるツーリングイベントを開催しています。当クラブのステッカーやのぼり旗を目印に市内の店舗を訪れ、事業者との交流も楽しみの一つです。能登半島地震発生により中断していた「羽咋人が教える能登路マップ」の完成を期待しています。



講評

羽咋市役所 まちづくり課 崎田 智之 課長

バラで新しい観光名所、オリーブで新しい特産品、バイクで新しい体験型観光など市民が自分の好きな事で楽しく繋いでいる活動は、羽咋らしいまちづくりに繋がっていくことになると思います。ぜひ、他の市民の皆さんも興味があること好きな事で繋がって欲しいと思います。

第2部 トークセッション

能登半島地震から1年が過ぎました。私たちは大きな災害から多くの事を学びました。一人一人がこの経験を今後の防災・減災に活かしていけたらいいと思います。

今回は「まちづくり×防災×市民活動」をテーマにトークセッションを行いました。パネリストの3名は、日頃から地域住民との関わりを持ち、震災時には多くの方の力になってくださいました。皆さんの町が住み続けたいと思える安心・安全なまちになるよう会場からの質問にも丁寧にお答えくださいました。



《パネリストとファシリテーターのみなさんのご紹介》

徳田 英夫さん 白山市湊地区コミュニティ防災・防犯部会会長 白山市湊自主防災会会長

発災時、緊急停車したサンダーバードの乗客330人を住民と協力し、避難誘導したり、昨夏に防災イベントを開いたりした。また、大学と連携して地域独自の防災計画作成も進めている。

濱名 猛さん 鹿島路地区民生委員児童員協議会会長 鹿島路町会自主防災組織

鹿島路町自主防災組織が中心となり、避難所の開設・運営、地域の被害状況の情報収集を行い、住民の困り事をまとめ、町会役員と共に活動した。自主防災組織では、高齢者宅に災害時の安否確認用に黄色いタオルを配布している。

岡田 勝頼さん 羽咋地区民生委員児童員協議会会長 大川北新町会長

発災時は地域を離れていたにも関わらず、被害状況・安否確認を地区民生委員と共にいった。地域住民が困り事を相談しやすいように支援物資や簡易トイレがある会館に常駐し、困り事を取りまとめ、災害ボランティアセンターへ依頼する窓口となり活動した。

曽根 志穂さん **ファシリテーター** 金城大学公衆衛生看護学専攻科講師

質疑応答

一部ご紹介します

01

サンダーバードの乗客を避難誘導した際、自主防災組織のメンバーは何人いましたか？ 避難所で困ったことはありませんでしたか？

(徳田氏) 避難誘導した体育館には5名の防災士がいました。大型の暖房器具があったので寒さはあまり感じませんでした。

02 サンダーバードの乗客を誘導した避難所はもともと設定されていた場所だったでしょうか？



(徳田氏) いいえ、想定外の出来事でしたが、色々な偶然が重なった事と地域の防災士、住民の協力によりスムーズな避難誘導ができました。

03 安否確認用の黄色いタオルですが、私も一人になったら欲しいなと思いました。これは市か地区か、どちらで作ったものなのでしょうか？

(濱名氏) 鹿島路自主防災組織で購入し、災害時の安否確認に使用するために高齢者宅へ配布したものが、発災時には残念ながら一つも出ていませんでした。ひとり暮らしの方にはとても有効だと思います。また、黄色いタオルの確認をしながら地域の巡回も併せてできるのであるといいと思います。

(徳田氏) 湊地区ではいくつか黄色いタオルが出ていたところがありました。少しは、訓練の効果があつたのかなと感じました。

04

人とのつながりを持つための具体的なアイデアはありますか？



(徳田氏) イベントや講習会に若い方の参加が少ない事が課題です。10年後、20年後を見据えて今から若い方や子どもたちを取り込めるような工夫をしていきたいと思っています。

(濱名氏) 空き家を利用して、もっと若い人方たちが集まれるような場所作りを考えています。人が人を呼び出しやすい楽しいまちづくりができるのではないかと考えています。

(岡田氏) いろんな人に声をかけて「機会」を作る。「和」を作る。まずは、自分から住民の顔や名前を覚えるなど、行動を起こして行きたいと思っています。

05

各世帯にハザードマップや防災に関する情報は発信されているが、なかなか周知されない。防災の周知、活動についてよい方法はありますか？

(徳田氏) 今回の震災で住民がパニックになっているのを見て、周知がされている事を感じました。やはり何度も言い続けるしかないのかなと思います。

(濱名氏) 防災訓練は大事だと思う。民生委員の立場からいうと避難困難者の遠方にいる家族の情報がほしい。地域のちょっとした情報が非常時に役立ち、防災につながると思います。

(岡田氏) 年に一度、近隣の町会と工業高校の生徒さんと合同で防災訓練をしており、繰り返し行うしかないと思います。



ご来場ありがとうございました